

伊建総第04090002 - 73号
令和3年1月26日

GPSSホールディングス株式会社 代表取締役 目崎 雅昭 様

和歌山県知事 仁坂 吉伸



適合通知書

令和3年12月14日付けで届出のあった下記の行為については、景観計画に定められた当該行為の制限の基準に適合しているため景観法第18条第2項及び和歌山県景観条例第17条の規定により通知します。

なお、同法第18条第1項の規定に関わらず、この通知日以後、行為に着手することができます。

記

行為の種類：工作物

行為の場所：伊都郡九度山町大字河根字辻之内216番4番地

景観計画区域内における行為の（変更）届出書

2021年 12 月 14 日

和歌山県知事 様

届出者 住 所 東京都港区芝2丁目5-10 芝公園NDビル6階

氏 名 GPSSホールディングス株式会社
代表取締役 目崎 雅昭

連絡先 03-6435-2391

景観法第16条第1項（第2項）の規定により、次のとおり届け出ます。

代理者 (法人にあっては、主たる事務所の所在地、その名称及び代表者の氏名)	ア 氏 名			
	イ 住 所			
	ウ 電話番号			
行為の名称		太陽光発電設備設置による開発行為		
行の場 為所	地名及び地番	伊都郡九度山町大字河根字辻之内216番4番地		
区 域 区 分		<input type="checkbox"/> 特定景観形成地域 () <input checked="" type="checkbox"/> その他		
行為の種類		<input type="checkbox"/> 建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築又は新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input checked="" type="checkbox"/> 工作物 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input checked="" type="checkbox"/> 開発 <input type="checkbox"/> 水面の埋立て <input type="checkbox"/> 外観の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更 <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 物件の堆積 <input type="checkbox"/> 模様替 堆積物件の種類 () <input type="checkbox"/> 色彩の変更		
① 建築物・ 工作物		届出部分	届出以外の部分	合計
	敷地面積			m ²
	建築(築造)面積	9,643m ²	m ²	9,643m ²
	延べ面積	m ²	m ²	m ²
	高さ	1.6m	m	
	構造	造/一部 造		
	用途	太陽光発電所		
外観の変更の内容	パネル面：5PB 1/2(近似値)、パネルフレーム：N9(近似値)、架台：N9(近似値)、受変電設備：5Y7/1(近似値)			
①以外	面積	m ²		
行為の着手予定日		2022年3月1日	行為の完了予定日	2022年7月31日
※届出番号		第 一 号	※適合通知年月日	
				年 月 日
※受付欄			※ 県処理欄	
都市政策課	建設部	市町村		
 伊都振興局建設部 受 04.1.14 付 号一 73		 建設課 031216 149		

注 「※」印の欄については、記入しないでください。

※意見欄
(市町村)

添付書類

- 建築物・工作物
 - ① 建築物又は工作物の敷地の位置及び当該敷地の周辺の状況を表示する図面（縮尺1/2, 500以上）
 - ② 当該敷地及び当該敷地の周辺の状況を示す写真
 - ③ 当該敷地内における建築物又は工作物の位置を表示する図面（縮尺1/100以上）
 - ④ 建築物又は工作物の彩色が施された二面以上の立面図（縮尺1/50以上）
色彩のマンセル値（日本産業規格Z8721で定める色相、明度及び彩度の三属性の値で表す数値）を表示すること
- 開発、土地の形質の変更、物件の堆積等
 - ① 当該行為を行う土地の区域並びに当該区域内及び当該区域の周辺の状況を表示する図面（縮尺1/2, 500以上）
 - ② 当該行為を行う土地の区域及び当該区域の周辺の状況を示す写真
 - ③ 設計図又は施行方法を明らかにする図面（縮尺1/100以上）

バッファゾーン

●橋本市、新宮市、かつらぎ町、那智勝浦町歴史文化的景観保全条例、九度山町高野参詣道周辺景観保護条例、熊野古道大辺路富田坂及び仏坂周辺の文化的景観の保護に関する条例、すさみ町熊野古道大辺路周辺の文化的景観の保護に関する条例及び熊野古道大辺路新田平見、富山平見、飛渡谷及び清水峠周辺の文化的景観の保護に関する条例の許可対象行為は市町条例による許可申請と和歌山県景観条例による届出を同時申請する場合に限り、①以外の図面を省略することができる。

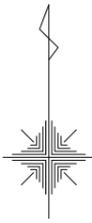
小規模（軽易）行為

●バッファゾーン以外の軽易な行為に係る届出の場合、添付書類②を省略することができる。なお、各図面は内容がわかれば縮尺は任意とする。また、①及び③の図面は兼ねることができる。

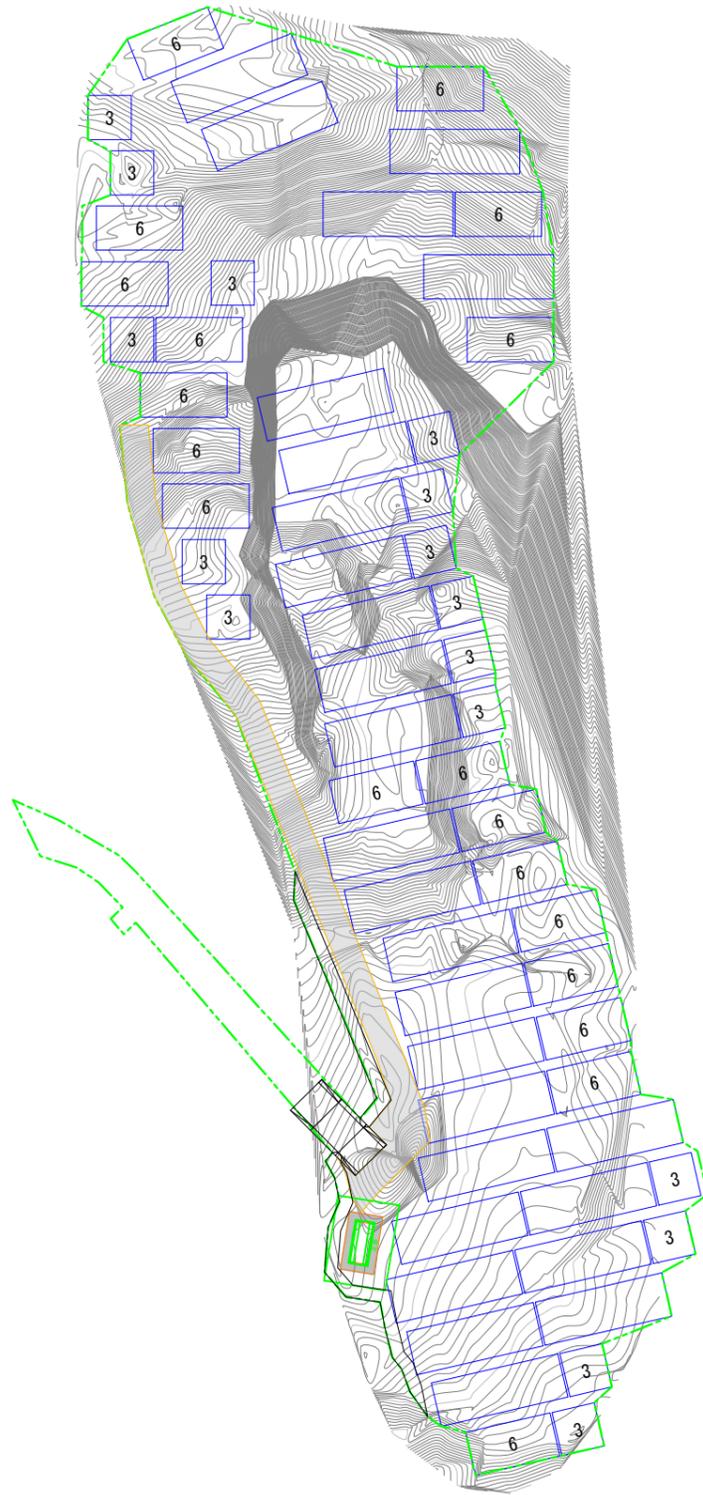
軽易な行為とは、建築物：延べ床面積30m²以内かつ高さ3m以内、工作物：高さ3m以内、その他：面積30m²以内のものに係る行為

事前協議対象の行為

●既に提出した図書の内容に変更がないときは、当該図書の添付を省略することができる。



↓北立面方向

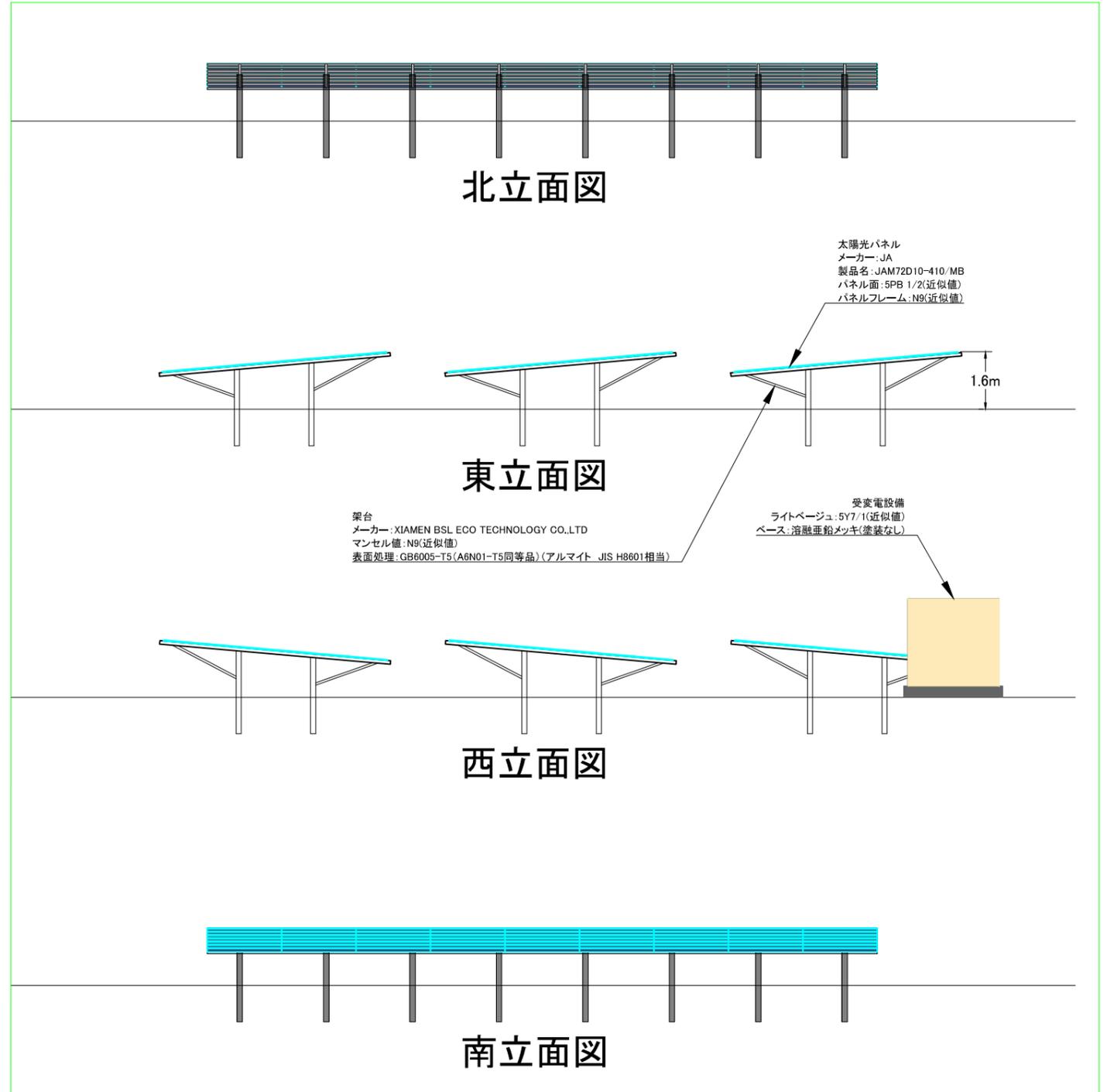


↑西立面方向

↑南立面方向

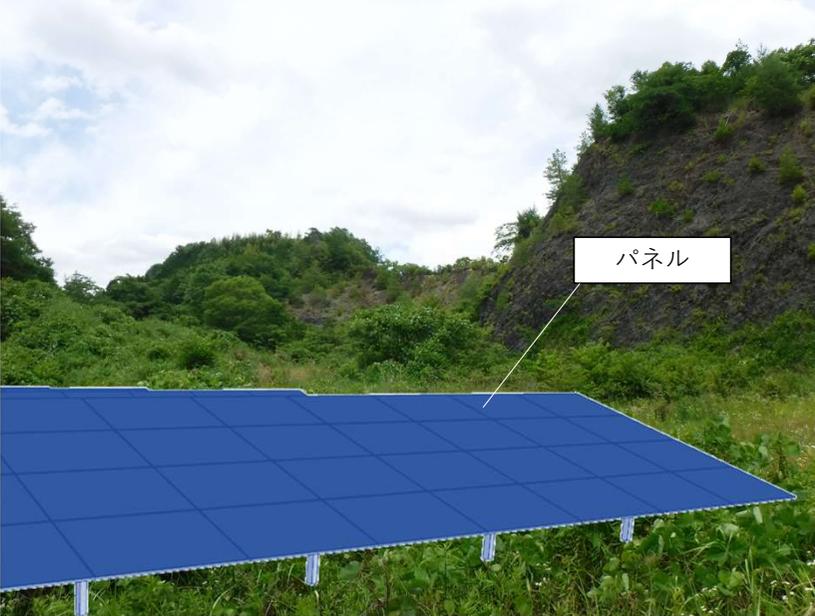
▲平面図(S=1/1000(A3))

↑東立面方向

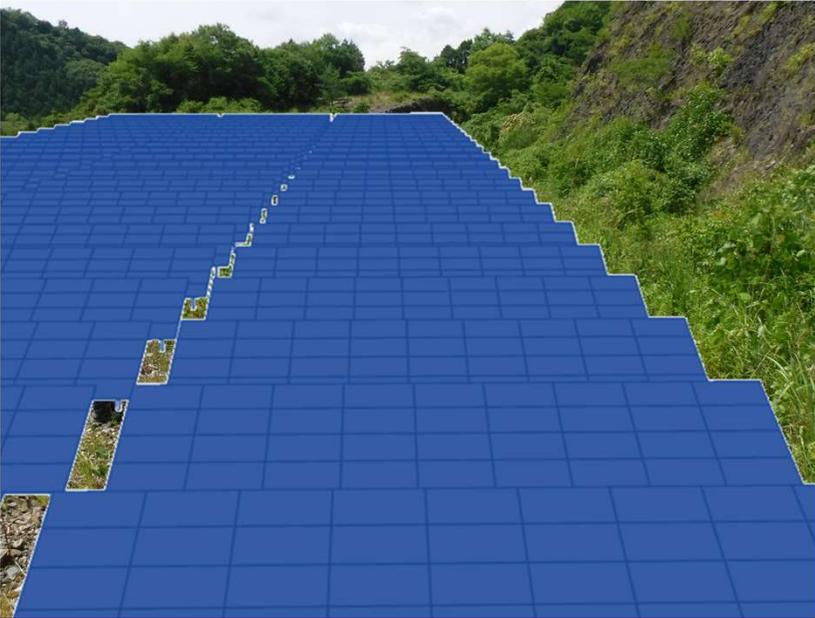


▲各種立面図(杭架台の場合)(S=1/150(A3))

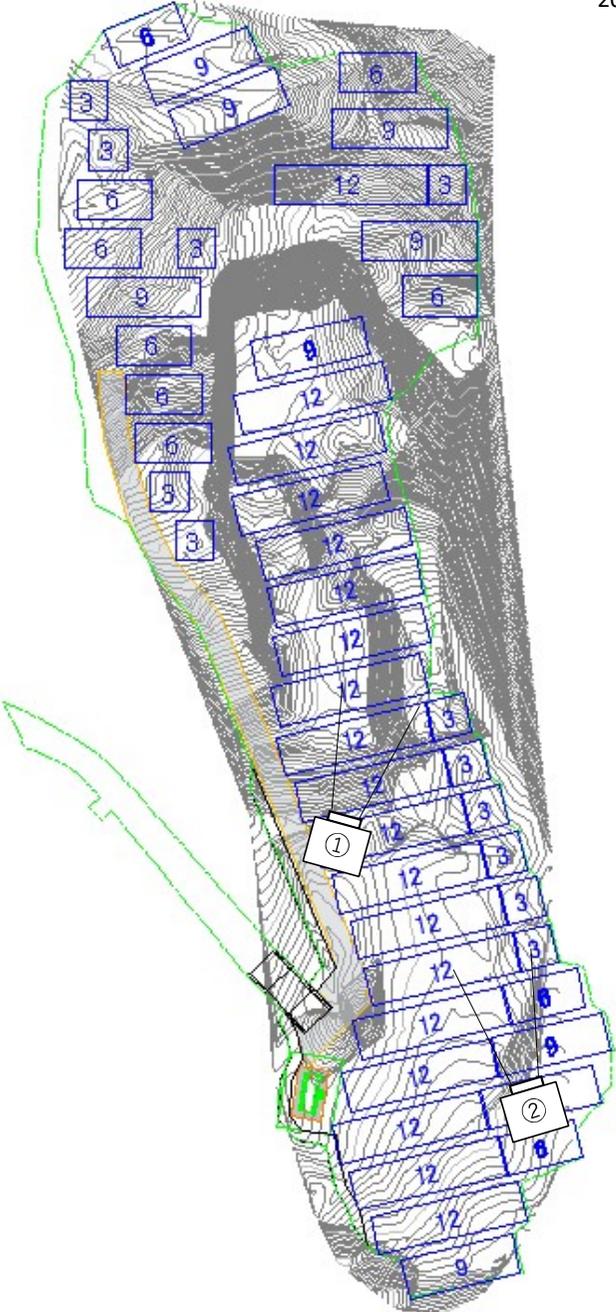
作成	2021.12/10	和歌山県伊都郡九度山町太陽光発電所新設工事
縮尺	各種	
用紙	A3	
承認	管理 施工 電気 設計	立面図
	丸山(簡)	GPSSIエンジニアリング株式会社
		00



▲シミュレーション図①



▲シミュレーション図②



▲全体平面図

太陽光発電設備の色彩参考資料

QB、TR



太陽光パネル



架台



パワーコン



太陽電池モジュール仕様書

型番： JAM72D10-410/MB

(TÜV 1500V フレーム付)

長辺 30-28

短辺 30-10

2020 年 1 月

J Aソーラー・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目 5 番 2 号三菱ビル 9 階 960

電話：03-5219-6133 FAX：03-5219-6134

1. 用途

本仕様書は、単結晶シリコン太陽電池ダブルガラスモジュール[JAM72D10-410/MB]に関するものです。

2. 物理仕様

モジュール型番	寸法 (L*W*H)	質量	前面カバー (材質、 厚さ)	充填材	背面 カバー	フレーム (タイプ、色)
JAM72D10-410/MB	2037±2mm* 1005±2mm* 30±1mm	約 26.5kg	強化ガラス 2.0mm	PO	強化ガラス 2.0mm	陽極酸化被膜 アルミ合金 シルバー/ 銀白色

3. 電気的パラメータ

モジュール型番	単位	JAM72D10-410/MB
公称最大出力 (Pmp)	W	410
出力許容公差 (注2)	W	0～+3%
出力分類 (Power Selection) (注2)	W	0～+5
公称開放電圧 (Voc)	V	50.08
公称最大出力電圧 (Vmp)	V	42.54
公称短絡電流 (Isc)	A	10.26
公称最大出力電流 (Imp)	A	9.64
短絡電流温度係数 (α Isc)	%/°C	+0.044
開放電圧温度係数 (β Voc)	%/°C	-0.272
最大出力温度係数 (γ Pmp)	%/°C	-0.354
セルの定格動作温度 (NOCT, @20°C)	°C	45±2

(注1) JIS C8990、IEC61215 準拠；標準試験条件(STC)にて (放射照度 1000W/m²、セル温度 25°C、スペクトル AM 1.5)

(注2) 出力許容公差：モジュール製品毎の出力 SPEC 許容範囲；出力分類：本製品は 5W 刻み出力にて分類、型番登録、認証済

4. 絶縁性能

絶縁抵抗	2000MΩ 以上 (DC1500V)
------	---------------------

耐電圧	DC4000V 1分間、絶縁破壊など異常のないこと
-----	---------------------------

(注) JIS C8918、IEC61215 準拠

出荷検査の耐電圧試験は UL1703 準拠 ((最大システム電圧の 2 倍+1000V) x 1.2 の直流電圧を 2 秒間印加)

5. 変換効率

モジュール変換効率[%]	20.0
セル実効変換効率[%] (JP-AC登録/経済産業省設備認定向け)	22.7

(注) ・モジュール変換効率：公称最大出力[W] ÷ (モジュール面積×放射照度[W/m²]) × 100%

・セル実効変換効率：公称最大出力[W] ÷ (セル面積×セル数×放射照度[W/m²]) × 100%

・放射照度：1000W/m²

6. 端子ボックス仕様

IP コード	IP 68
ケーブル断面積	4 mm ²
コネクタタイプ	QC 4.10-35
バイパスダイオード数	3

7. 動作条件

最大システム電圧	V	DC 1500V (IEC)
動作温度.	℃	-40 ~ +85
最大過電流保護定格	A	20
最大静的負荷、正面 (積雪、風)	Pa	5400
最大静的負荷、背面 (風)	Pa	2400
接地抵抗	Ω	<0.1

8. 認証と保証

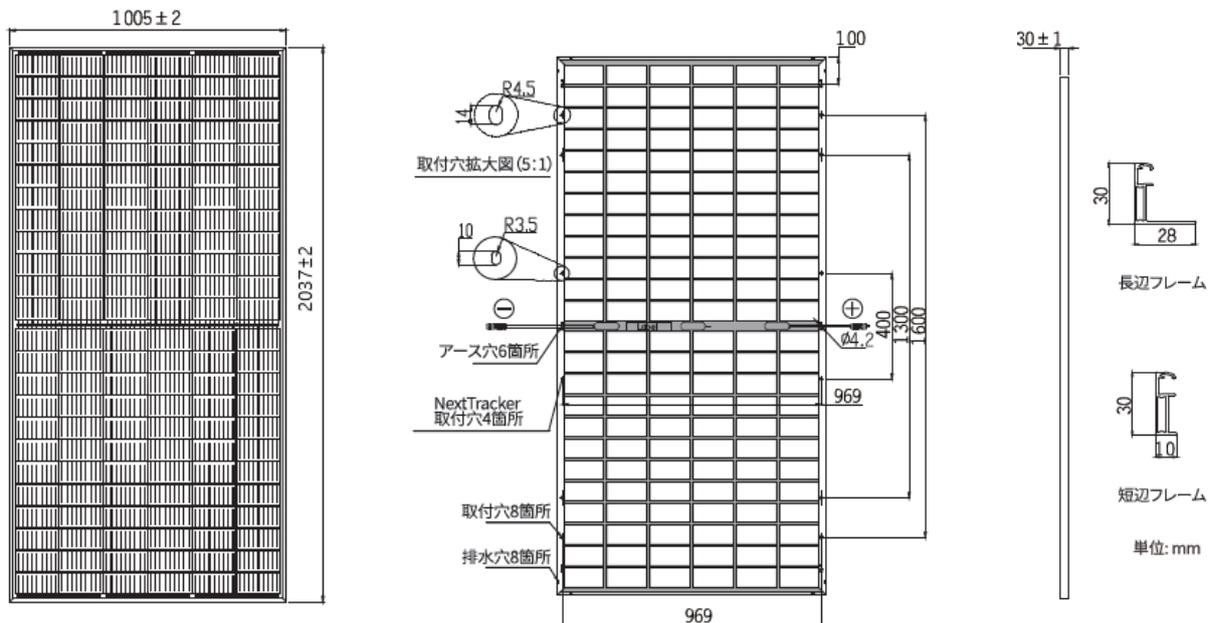
IEC 認証基準	IEC 61215(2016) & IEC 61730(2016)
安全クラス (IEC61730-2) (2016)	Class II

防火クラス(IEC61730-2) (2016)	Class C
製品保証	12 年
最大出力保証	単結晶製品: 保証開始日から 1 年間の出力ダウン率 2.5% 以内、2 年目から 30 年目までの年間出力ダウン率 0.5%以内、30 年間後に公称最大出力の 83% 以上の出力を保証します。

9. 梱包

モジュール型番	モジュール 数量 /パレット	パレット 数量/コンテナ	合計数量	質量(kg) /パレット
JAM72D10-410/MB	33	22	726	932 (公差 : ±3%)

10. モジュール寸法図面



11. その他

太陽光発電モジュールの設置に関しまして、弊社設置マニュアルをご参照ください。

本仕様書に記載された内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

SG49.5CX-JP

1000Vシステム用多路MPPT式ストリングパワーコンディショナ

Preliminary



高発電量

- 6 MPPTs 最大効率 98.7%
- 両面モジュール対応
- PID修復機能



柔軟配置

- DC/AC 過積載 1.5
- AI とCu AC ケーブル対応
- 垂直から水平まで取り付け可能



スマート O&M

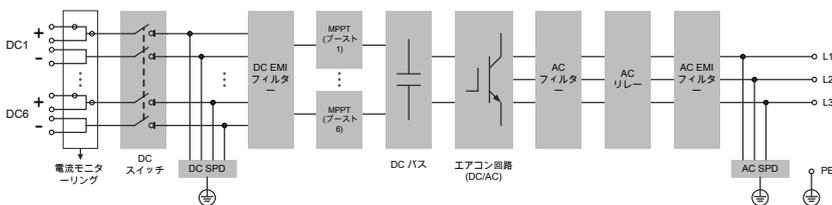
- タッチフリー試運転とファームウェア更新
- ヒューズレス、スマートストリング電流モニターリング



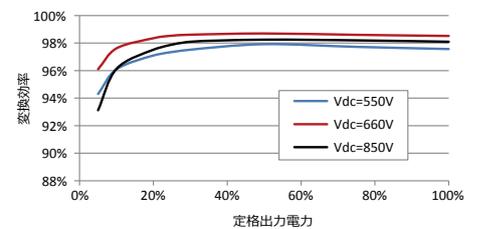
安全保証

- IP66 と C5 保護等級
- II 級SPD DC とAC

回路図



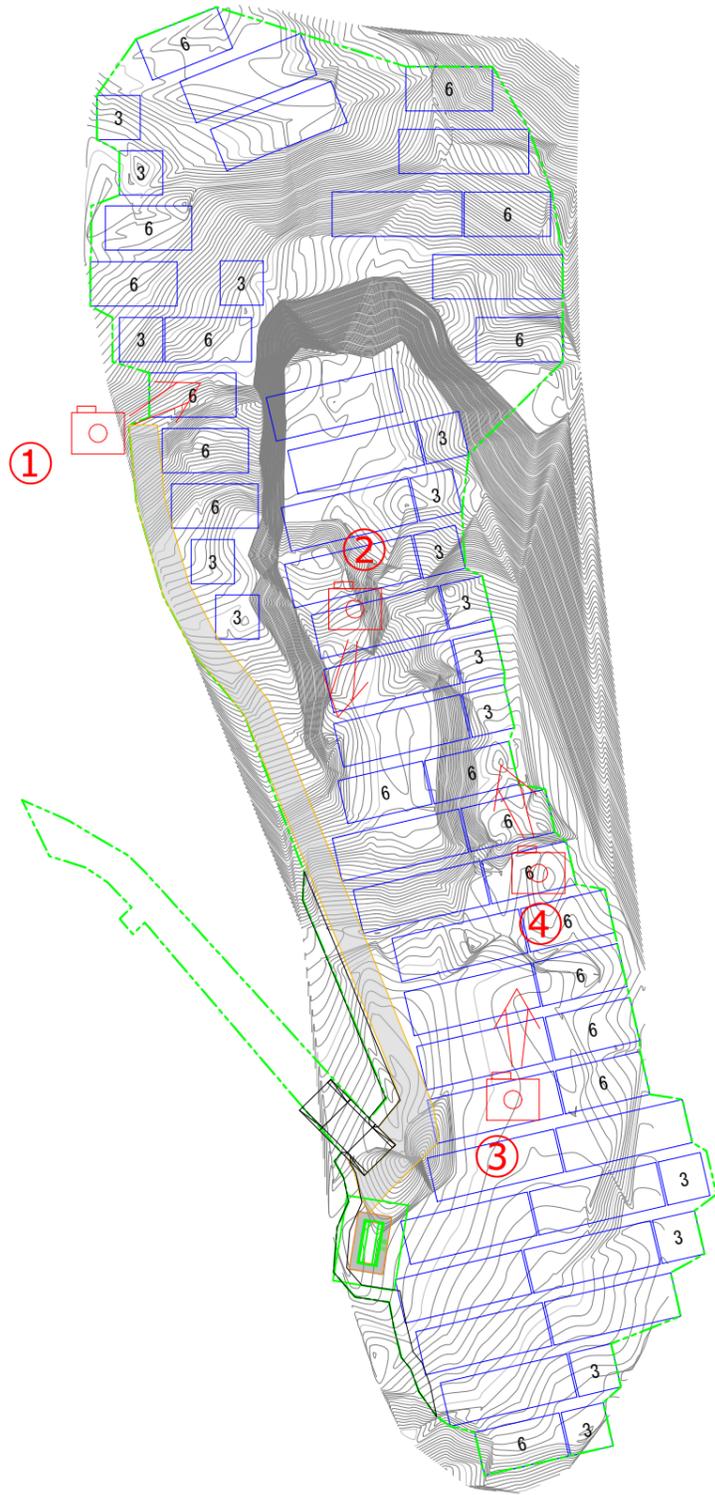
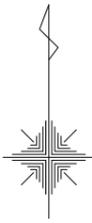
効率曲線



仕様指定	SG49.5CX-JP
入力 (直流)	
最大入力電圧	1100 V *
最小入力電圧/ 始動電圧	200 V / 250 V
定格電圧	660 V
MPP 電圧範囲	200 - 1000 V
MPP 回路数	6
各MPPT最大接続回路数	2
最大入力電流	6 * 26 A
最大短絡電流	40 A
出力 (交流)	
定格出力電力	49.5kW
最大皮相電力	60kVA
最大出力電流	78.8 A
定格電圧	3 / PE, 440 V
出力電圧範囲	374 - 506 V
定格周波数 / 周波数範囲	50 Hz / 45 - 55 Hz, 60 Hz / 55 - 65 Hz
歪率	< 3 % (定格電力)
定格力率 / 力率範囲	>0.99 / 0.8進み - 0.8 遅れ
相数	3 / 3-PE
効率	
最大変換効率	98.7%
保護	
交流逆接続保護	あり
交流短絡保護	あり
漏洩電流保護	あり
グリッドモニターリング	あり
DC スイッチ	あり
PV スtringモニターリング	あり
PID修復機能	あり
サージ保護	DC Type II / AC Type II
基本データ	
寸法 (W*H*D)	782*645*310 mm
質量	65 kg
絶縁方式	トランスレス
保護等級	IP66
環境温度範囲	-30 to 60 °C (> 45 °Cデレーティング)
相対湿度範囲	0 - 100 %
冷却方式	スマート強制風冷
標高	4000 m (> 3000 m デレーティング)
表示	LED, Bluetooth + APP
通信	RS485
直流端子	MC4
交流 端子	OT (16 - 70mm ² , Cu /Al)
グリッドサポート機能	LVRT, HVRT, 有効 & 無効電力制限と電力上昇率制御

*: 入力電圧が1000v ~ 1100vの間であれば、エアコンディショナーはスタンバイ状態になります。システムの最大直流電圧が1000 vを超える場合は、納品に含まれるMC4コネクタを使用してはいけません。この場合、MC4 Evo2コネクタを使用する必要があります。





▲現況写真①



▲現況写真②



▲現況写真③



▲現況写真④

作成	2021.12/10	和歌山県伊都郡九度山町太陽光発電所新設工事
縮尺	N/S	
用紙	A3	
承認	管理 施工 電気 設計	
承認	丸山(簡)	現況写真
		GPSSIエンジニアリング株式会社
		00

九度山太陽光発電所
 【敷地および敷地周辺の状況が分かる写真 位置図】

GPSSエンジニアリング株式会社
 2022/1/17
 作成：丸山(周)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



▲撮影位置図

